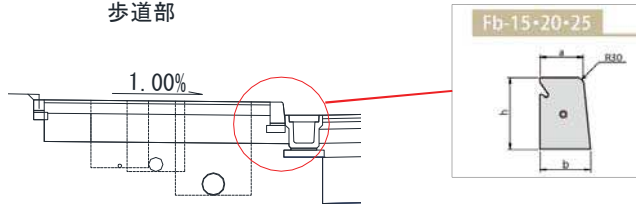


1	表題(課題)名	防草対策及び追跡調査について
2	工事(業務・測量)名	栗ノ木道路 地表道路改良その5工事
3	施工者名	株式会社 小林組
4	工期	平成29年 2月 3日 ~ 平成 30年 3月 20日
5	担当技術者(立場)名	現場代理人 (さいとう なおき) 齋藤 直樹
6	担当主任監督員	建設監督官
7	課題区分名	⑦ 環境
8	工事(業務・測量)概要	栗ノ木道路、地表道路部交差点改良に伴う左折レーンの増設を施工した。
9	【施工における 課題・問題点 等】	<p>草は通行の妨げや、視認性の妨げとなり通行の支障となる為、防草処理方法について、有効な方法とされる防草ブロック (CB-050041-V) の効果について追跡調査を実施しました。 (施工平成27年9月：調査平成29年11月 2年2カ月経過)</p> <p>また、防草コンクリートの側溝とのジョイントの目地に草が生える事が予想される為、対策案の試験施工を行いました。</p>
10	【実施内容】	<p>①追跡調査 施工箇所の歩道部はマウンドアップの形状の為、縁石ブロックと歩道舗装のジョイント部の防草対策として、防草ブロックの提案を行い、歩車道ブロック (Fb-20) タイプを使用し施工を行いました。(今回の工事においても防草ブロックにて施工を行いました。)</p> <p>歩道部</p>  <p>※防草ブロック：通常製品と単価同じ</p> <p>②今回施工 防草コンクリート施工部においても、防草効果のある欠き部の形状を基に、側溝とコンクリートの接続部分に50mm×50mmのL型鋼を設置し、試験施工を行いました。 (材料費：1200円/m)</p>  <p>詳細図</p> <p>接着固定</p>
11	【実施結果】	<p>①防草ブロックの効果の確認について 2年2カ月経過の栗ノ木道路の歩道部の現地確認を行いました。 防草ブロック使用部分では目地草はありませんでしたが、乗入部ブロック (非防草ブロック) の部分では雑草がありました。 結果としては防草ブロックの効果を確認することができたので、非常に有効な手段と考えます。</p> <p>②今回の試験施工したL型鋼設置の防草効果について 既設側溝施工部などの防草コンクリートに適用できると思いますので、継続して観察を行います。</p>

(様式—2)

【実施内容等】

追跡調査：防草ブロック施工部



近景：目地草なし



乗入部：非防草タイプ：目地草あり



L型鋼 50mm×50mm 設置

